

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立豊浦小学校

幼保小連携の充実

子どもが新しい学校生活に円滑に移行できるように、幼稚園や保育園との情報交換や児童と園児との交流の内容を充実させる。

学校生活の体験



登校、荷物整理、朝の会、給食着の着替え、掃除、帰りの会など、一日の流れを、児童を手本にして、園児が体験しました。

園児の理解を促すため視覚教材を活用します。



成果

事前に小学校生活を体験するとともに、園でも入学後を想定した指導をしていくことで、園児の不安や戸惑いを軽減し、入学への期待感を高めることができた。

1年生は園児に学校生活について教えることで、温かく迎え入れようとする気持ちや自己の成長を意識することができた。

職員同士の協力体制

年4回の情報交換



- 夏季休業中(小学校)に幼稚園・保育園を訪問し、小学校教員も園の活動を体験します。
- 園の教員も小学校の研究授業を参観します。

- ① 6月…年間交流計画、入学後の学校生活について
- ② 8月…1学期の交流の振り返りと2学期の計画、テーマ別協議
- ③ 12月…2学期の交流の振り返りと3学期の計画
- ④ 2月…1年間の振り返り、新年度に向けて



教職員の参観・体験

成果

定期的な交流計画の振り返りや打ち合わせ、入学前の園での様子や入学後の児童の様子について情報交換を密にすることで、実態に応じた細かな指導を行うことができた。

相互に教育活動を参観・体験する中で、児童・園児の情報や指導方法について学び合うことができた。